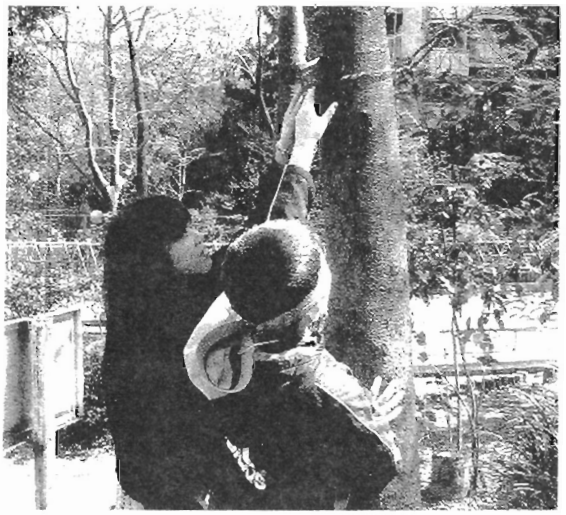
2009.4

S.O.E. News no.45

ホームページもご覧ください
NPO-SOE.JP

NPO センスオブアース・市民による自然共生ハンゲア からのお知らせ

◉環境教育出前授業 板橋区立緑小学校５年生('09年３月12日)



「ぼくがこの木を選んだ理由はこの木は根っこが椅子みたいになっているから２年生のころ座って絵を描いたりしていたからだよ。」

〔この子には前から、自然と触れ合って“ぼくの木が存在していたんだと思ったらうれしくなりました。〕

「ぼくの木・わたしの木」五感で考える授業

日本女子大学１年　桑原奈美

私は今回「ぼくの木・わたしの木」の授業で小学５年生の男の子とペアになり一緒に「わたしの木」を紹介し合う活動をやりました。このゲームお互いに相手に紹介しておきたい木を事前に決めておき、選んだ理由をまず言い、その後相手に目隠しをしてもらいその木までつれていきます。目が見えない状態なので触ってもらったり、匂いをかいでもらったりしながら五感を使って木をとらえてもらいます。その後、少し離れたところに戻って、紹介した私の木を視力を使って当てるゲームです。

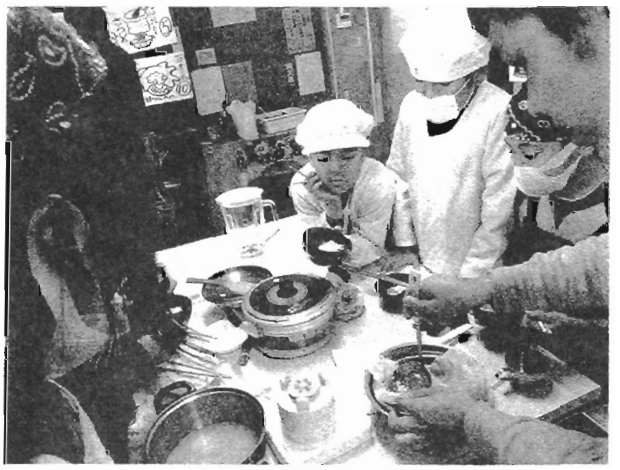
私は男の子とペアになりやって見て、男の子の感性にたくさん驚かされました。特に驚いたことは、私は始めその子に紹介されるまで選んだ理由と言ってもそんなに深いことを予想していませんでした。しかし、その子は私に「僕がこの木を選んだ理由はこの木は根っこが椅子みたいになっているから小

…2ページへつづく ↘…

◉環境教育出前授業 板橋区立志村第四小学校５年生('09年３月10日)

とうふづくりを通して食の自給率、フードマイレージ・環境のことを知る・考えるきっかづくりを

法政大学４年　北野翔平



2009年３月10日、志村第四小学校でとうふ作りの授業が行われました。この授業としては初めての１日２回の授業。給食を挟んで午前に１クラス、午後に２クラスの子ども達が初めてであると思われるとうふ作りに挑戦です。今回の子ども達は、５年生。これまで培ってきた協調性で、とうふ作りは予想以上にうまく進んでいきました。

…3ページへつづく ↘…

学校２年生のころよく座って絵を描いたりしていたからだよ。」と言ったことがまずとても驚きました。この授業のためだけに〝僕の木〟を決めたわけではなくて、その子には前からいつのまにか自然と触れ合う中で〝僕の木〟が存在していたんだと思ったらとてもうれしくなりました。そしてこの授業はその子の今まで何気なく自然と触れ合っていて感じたり、思ったりしていた部分を呼び覚ますことができたと感じました。きっとこの授業で〝僕の木〟というものを考えるきっかけがあったから、これまでのその子の普段の触れ合いがよみがえって、今回それを導くことができたんだなと、私は授業をやってみて強く思いました。これからもっと子どもたちに自然と一緒に触れ合い考える場を提供していきたいと思います。

考えるということはとても大事だと感じた授業でした。

● ● ● ● ● ● ● ●

「木が友だちになって話しかけてくるようだった」

木の命を感じる授業―「ぼくの木・わたしの木」

駒沢大学３年　渡辺亮太

「この木はこれから大きくなって花を咲かせるんだよ」「この木のここのくぼみが気になったんだ」子どもたちはそれぞれ自分の選んだ木から感じたことを友達に伝えていました。はじめは「なんでこんなことやらないといけないの」と話している子ども達もいました。しかし、実際に活動をし始めると、元気よく活動をし始めました。私は無邪気に木に向かって行く子ども達の眼が段々と輝いていく姿が印象的でした。木を見つけると、私たちスタッフに駆け寄ってきて、見つけられたよと言ってきてくれたことが嬉しかったです。

人々に環境問題について関心を持たせるためには何をすべきか。私はいつもこのことを考えています。今回の活動から何よりも子供のころから自然に触れ、木・花などの自然に愛着を持ってもらうことが一番の環境教育だと感じました。そして、環境教育という以上に子どもたちに自然を愛する心を持ってもらうことは環境問題を考える以前に重要なことなのだと、子ども達の姿を見て感じ、私自身勉強になりました。

● ● ● ● ● ● ● ●

学生手作りのエンジンで「オオカミとウサギ」を楽しんで、「木こりの親方」ですぐに、樹を丸ごと受け入れていく感性に驚嘆

日本女子大学１年　須藤かおり

３月12日、板橋区立緑小学校５年２組のみなさんと「ぼくの木・わたしの木」の授業を行いました。昨年の夏に講習を受けたネイチャーゲームを使った感性の授業。新しい授業ということで少し不安もありましたが、元気で素直な５年２組のみなさんに助けられ、無事に授業を行うことができました。

まずは「オオカミとウサギ」というアクティビティーでアイスブレーキングを行いました。オオカミに捕まらないようにウサギがニンジンをとってくるゲームです。オオカミ役の子に捕まらないように慎重にニンジンを運んでいくグループや、あっという間にニンジンを運んでいくグループもありました。このアクティビティーが始まる前は表情が少し硬かった様子でしたが、終わるころにはみんなニコニコしていて盛り上がりました。

次に行ったのは「木こりの親方」。グループごとに木を決め、子分になった子が親分に木の個性を伝えていきながら、当てていくこのゲーム。親分の質問に対し、子分になった子は「木の表面はザラザラしていてこげ茶色をしている」、「葉っぱは今はないけど、緑色で少しギザギザしているよ」などとそれぞれの木の特徴を答えていきました。一度で学校にある木の中から一本の木を探し出すことができたり、みんな木の特徴をうまく掴むことができました。

とうふづくり―志村第四小学校5年生のつづき

まずは１日水に浸した大豆をミキサーにかけて、生呉を作ります。これを熱してしぼったものが、みなさんご存知の豆乳です。ちなみに、しぼったときに残ったものがおからになります。人肌ほどに温まった呉を豆乳とおからに分けるために、子ども達は力を合わせました。袋を持つ人、それをしぼる人、交代交代でしっかりしぼりきることが出来ました。

とうふは熱した豆乳ににがりを入れて、しばらく置くことで完成します。にがりを入れてからは、大豆に関するクイズを解きながら固まるのを待ちます。クイズでは大豆が日本でどれくらい作られてるのか、足りない分はどこからきているのか、そしてそのことが環境問題とどう関わるのかなどを勉強しました。

最後は、いよいよとうふが固まっているかの確認です。どきどきしながら開けてみると、そこにはしっかりと固まっているとうふの姿がありました。少し固まり方が弱いグループもありましたが、午前・午後共にこれまでの中で一番の完成度でした。味もおおむね好評で、子ども達は大豆からとうふがどのように出来るのか、手作りのとうふが売られているものとどう違うのかを実感できていたようでした。

５年生がセンスオブアースの授業を受けるのは初めてでした。この経験は日本の食糧問題、大豆の自給率が11%だということ、他の食料も60%は外国から輸入していること、そのことから、遠い国からの輸送によって、大量の二酸化炭素を地球上にまき散らしていることなどに繋がっていく学習となり、６年生～中学生になっても環境に興味を持つきっかけになると思います。今回の授業がこれからの食のライフスタイルの改善や、学習課題意識を高めるのにどう繋がるのか、今後がとても楽しみな授業でした。

◉ S.O.E. 活動報告（2009年3月）

日	曜	内　容
5	木	板橋区立高島第三中1年4組3・4時間目　2組5・6時間目「食べ物はどこから」フードマイレージを学ぶ　の授業実施
6	金	板橋区立緑小5年2組「ほくの木・わたしの木」授業雨天のため延期
7	土	～8日(日)：SOE　学生メンバー　年間反省合宿実施
9	月	午後：杉並区杉並エコスクール研究会・まちづくりに夢をつなぐ市民の会　山内さん、NPOすぎなみ環境ネットワーク秦さんと活動交流、夜：トーフづくりの材料買出し
10	火	板橋区立志村第四小　午前、午後2回　5年全　「志四小産トーフ作り」授業実施
12	木	板橋区立緑小　5年2組　「ほくの木・わたしの木」授業実施
13	金	板橋区立高島第三中学校　1年1組　1・2時間目　1年3組3・4時間目　授業実施
15	日	SOE 3月号ニュース2500部　発行作業
27	金	環境雑誌「ソトコト」依頼による、異学年小学生グループへの環境学習実施。 板橋区前野公園の自然を生かした活動をソトコト誌が取材。(5月2日発売)
29	日	センスオブアースのワークショップ　「食べ物はどこから―フードマイレージ」のプログラム研究、改善。 エコフードデイについて検討開始

◉ S.O.E. 活動予定（2009年4月）

2	木	NPO法人すぎなみ環境ネットワーク　浅岡八枝子さん・境原達也さん・秦範子さんと話し合い―すぎなみの消費者運動、リサイクル活動、そして環境活動へ発展、初期のころからの、自治体との協働、現在の委託制度の課題など
3	金	NPO法人川口市民環境会議理事長　浅羽理恵さんにNPO活動について取材―エコライフデイ、環境フォーラム、環境教育出前授業、環境教育出前授業講師養成講習会など。見沼田んぼ周辺の環境、通船堀見学
6	月	SOEニュース4月号原稿準備・09年度分ニュースコピー紙・封筒受取
7	火	4月アースデイ、エコリーグ、セイブザフユーチャーなどの連絡・準備
9	木	アースデイ　実行委員会出席予定
11	土	沖縄エコツアー　スタッフ打ち合わせ―於　日本女子大学西生田校舎　昼
12	日	午前：SOEワークショップ　午後：SOEニュース発行作業予定
16	木	NHK主催「セイブザフユーチャー」出展者説明会出席予定
18	土	～19(日)：エコリーグ環境情報交換会
26	日	環境教育プログラムのためのSOEワークショップ

センスオブアースも出場します。

SAVE THE FUTURE：主催 NHK

期日:2009年6月20日(土)～(日)　於:NHK放送センター内特設会場

NHKが主催する SAVE THE FUTURE は、2008年6月に始まり、温暖化などの様々な環境についての問題を、放送・イベントなどを通じて、一緒に考えていくものです。

そのイベントでは、環境にかかわる活動を行っている市民グループやNPO、学生サークルなどの団体が未来を救うために行っている活動を発表します。

センスオブアースもこれまでの活動をユニークに発表します。ぜひご来場ください。

発行　特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所　東京都板橋区前野町4－8－6（〒174-0063）phone: 03-3960-6052　fax: 03-3960-6053

e-mail: info@npo-soe.jp　url: www.npo-soe.jp